

新緑の五月となりました。新入園の子

ではないでしょうか。

ども達も、そろそろ新しい環境に慣れて

きた頃でしょうか。「堀合先生に学ぶ」

二回めは上垣内先生の報告です。「△歳

からでは遅すぎる」などと、親心をあお

るような幼児英才教育のはやるこの頃、

今の子は、一見、小さいうちから教える

とよく理解し、適応することも上手に

なったようになります。でも、堀合先生

のおっしゃる「今の子は考える過程で頭

の動かし方が幼いように感じる。それだ

けに人間的な基盤となるものが型には

まつてない。だからやたらに手を出さ

ない方がいい。言葉で教えるのではなく

自分を十分にしていく中で、知らない

うちに判っていくのではないか」という

言葉に、ああ、やっぱり…、「教える」

ことと「身につく」ことの間は直線では

なく、自分の頭と体を通った体験・実感

という曲線で複雑に結ばれるものなのか

と思いました。同じことが関祐二先生の

「真の学力」の基礎につながっていくの

でみてはいかがですか？

(K)

幼児の教育

第九十二巻 第五号
(一九九三年五月号)

定価四五〇円 (本体四三七円)

平成五年五月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

発売所 東京都港区三田五一一一
株式会社 フレーベル館

振替口座 東京九一九六四〇
電話〇三一三三九二一七七八一

● 本誌御購読の御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

● 万一一落丁・乱丁などがございまし
たら、おとりかえいたします。